

トレーラー

お茶会。
それは貴族社会における社交の場。
——であると同時に、

時としてお茶会は狩りの場、
闘争の場となる。
気に食わない、目障りだ、利用できる。
そんな理由で、とある令嬢は
ひとりの女子生徒を
弾劾の標的に選んだ。

——相手が、最強の裏ボスであり
王国の命運を握る少女だと
知るよしもなく……。

悪役令嬢レベル 99 TRPG
『裏ボス、お茶会に出席す』

バッドエンドの運命に立ち向かえ !!

レギュレーション

基本設定を使用。
使用成長点 0 ~ 25 点

キャスト②のIGRが主人公のため、アリスは登場しない。キャスト同士はシナリオ以前にも「バッドエンド現象がもたらすトラブルを協力して解決したことがある」とする。

キャスト①

QS: 悪役 (『AR 99』 P 115)
MGS: 転生者 IGR: 悪役

フラグ: お茶会への嫌な予感

キミは乙女ゲーム『ヒカユウ』の世界に転生してしまった。そして、この世界で平穩に生きるためには、裏ボスであるユミエラ・ドルクネス絡みのバッドエンドを防がねばならない。

今回、キミは奇妙なお茶会の予知夢を見た。その席でユミエラが他の参加者から糾弾を浴びていた。彼女が学園から去れば、王国は魔王に滅ぼされるだろう。そんな事態は阻止しなければならない。

PG: ユミエラへの弾劾を阻止する

キャスト②

QS: 主人公 (『AR 99』 P 300)
MGS: 現地人 IGR: 主人公

フラグ: ロレッタの困りごとの予感

キミは王立学園に通う生徒だ。ロレッタはキミのクラスメイトで仲のよい友人だ。だが、最近の彼女は忙しいらしい。どうやら伯爵令嬢のクローディアとのつき合いで振り回されているように見える。

貴族階級の間には、社交をおろそかにできないと聞く。そのうえで、キミには彼女が無理をしているように見えてしかたがない。

PG: ロレッタを助ける

キャスト③

QS: 攻略対象 (『AR 99』 P 299)
MGS: 現地人 IGR: 攻略対象

フラグ: 厄介な任務の予感

キミは王立学園に通う生徒であり、ユミエラ嬢を監視する学園長ロナルドに協力を求められている。彼が言うにはクローディア・スタンツホールド嬢が、近くエドウィン王子やユミエラ嬢を招いてお茶会を催すと

のことだ。だが、スタンツホールド家は反国王派に属する家だ。何らかの陰謀の可能性もある。その背景の調査とトラブルの回避を、彼から頼まれることとなった。

PG: トラブルを防ぐ

キャスト④

QS: モブ (『AR 99』 P 301)
MGS: 現地人 IGR: モブ

フラグ: 近侍の務め

キミは王立学園に通うキャスト①の身の回りの世話を任された近侍である。キャスト①には未来に起きるトラブルを感知する力があり、事件が起きる前から厄介事に首を突っ込む。

庶民であるキミにできることは、その活動をサポートすることだけだ。

PG: キャスト①を助ける